

\*\*\*\*\*

やらまいか@gri forest ニュース 336号  
(2023年9月15日配信)

\*\*\*\*\*

## 【目次】

---

### ■--ビジネスお役立ち情報--■□■□■

・令和5年度GAP研修会を開催します

### ■--お知らせ--■□■□■

- 1 農作業中の熱中症を予防しましょう
- 2 秋の農作業安全確認運動の実施について
- 3 「浜松まるごといただきます！キャンペーン」について
- 4 Webマガジン「a f f」8月号の「旅する農業遺産」について

### ■--西部農林活動リポート--■□■□■

・西部農林活動リポート（7・8月）

---

### ■--ビジネスお役立ち情報--■□■□■

---

令和5年度GAP研修会を開催します

---

安全で安心な農場運営に取り組むための指標となるGAPの意義と重要性を理解するとともに、環境直払交付金事業の取組みに必要な「持続可能な農業生産に係る取組」や「みどりのチェックシート」の理解度を高めるための研修会です。  
環境直払交付金事業に取り組む農業者の方については、積極的に御参加ください。

#### ●日時

10月2日（月）13時30分～14時30分（浜松総合庁舎）  
10月3日（火）13時30分～14時30分（北遠総合庁舎）

#### ●場所

浜松総合庁舎：浜松市中区中央1丁目12-1  
北遠総合庁舎：浜松市天竜区二俣町鹿島559

●定員 各会場20人程度

●受講料 無料

●申込み方法及び詳細（GAP研修会開催要領）

[https://www.pref.shizuoka.jp/res/projects/default\\_project/\\_page/001/040/114/gapkensyu.pdf](https://www.pref.shizuoka.jp/res/projects/default_project/_page/001/040/114/gapkensyu.pdf)

●お問合せ

静岡県西部農林事務所天竜農林局地域振興課

TEL：053-926-2139

■--お知らせ--■□■□■

---

1 農作業中の熱中症を予防しましょう

---

本年、5月1日～9月30日は「熱中症対策強化期間」です。  
熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です。

●熱中症のリスクについて

- ・毎年、農作業中の熱中症により約30人が死亡しています。
- ・農作業中の熱中症による死亡者を月別に見ると、7～8月の発生が多い一方、他の月でも発生しています。
- ・熱中症の危険性が極めて高くなると予測される地域に発令される「熱中症警戒アラート」の情報が、テレビ等の天気予報、環境省や気象庁のウェブサイト、農林水産省が提供するMAFFアプリ等で入手できます。

●予防のポイント

- ・暑さを避ける（できる限り高温時の作業は避け、作業を行う場合は日陰や風通しのよい場所で行う）
- ・こまめな休憩と水分補給
- ・単独作業は避ける（やむを得ず単独作業を行う場合も時間を決めて携帯電話等で定期的に家族や知人と連絡を取り合う）
- ・熱中症対策アイテムの活用（つばの大きい帽子のほか、吸湿速乾性の衣服や装具、空調服やミストファンなど）
- ・そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう

●熱中症が疑われる場合には

- （1）作業を中断（代表的な症状は、手足のしびれ・めまい・吐き気・頭痛、汗をかかない、まっすぐ歩けないなど）
- （2）応急処置（涼しい場所に避難し、衣服を緩めるとともに、首筋や脇の下・足の付け根を冷やす応急処置を行う）
- （3）病院へ（応急処置で症状が改善しない場合、躊躇することなく医療機関での診察を受ける）

●熱中症対策パンフレット

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzen/attach/pdf/nechu-25.pdf](https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/attach/pdf/nechu-25.pdf)

---

2 秋の農作業安全確認運動の実施について

---

9月1日から10月31日までの2か月間、県内全域で、秋の農作業安全確認運動が行われています。

令和3年の全国の農作業中の死亡事故は前年より28人減少し242人であり、65歳以上の高齢者が85%を占めていました。

就業者10万人当たりの死亡事故者数は10.5人と、他産業と比べ依然として高い状態にあります。

秋は、農作物の収穫期を迎え、農業機械を利用する作業が多くなります。農作業事故の多くが、単純なミスによるものであり、十分注意することで防ぐことができます。基本的な注意事項を確認し、事故の原因を一つ一つ取り除き、農作業事故ゼロを目指しましょう。

●鳥獣被害対策として電気柵を設置している場合は、以下の点をもう一度確認しましょう。

- ・見えやすい場所への危険表示
- ・電気柵用の電源装置の使用
- ・30V以上の電源を使用する場合などにおける漏電遮断器の設置
- ・容易に開閉できる場所に専用のスイッチの設置

●チェックポイント

(1) 安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用しましょう

トラクターの転落・転倒による死亡事故の多くは、安全キャブ・フレームのないトラクターで発生しています。

こうしたリスクを理解し、機械の導入をしましょう。

(2) シートベルトを着用しましょう

安全キャブ・フレームが装着されたトラクターであっても、シートベルトを着用しなければ、安全キャブ・フレームにより確保される安全域の中に身体が固定されないため、転落・転倒した際に身を守ることはできません。

(3) 農業機械の管理・利用は、適切に行いましょう

毎日の作業前には、必ず日常点検を実施しましょう。

また、定期的に整備工場での整備を行いましょう。

(4) 適度な休息を取りましょう

長時間労働は、注意力を低下させ、事故を発生させる要因となります。

適度な休息をとり、心身ともに健康な状態で作業を行いましょう。

●農作業安全対策の詳細は以下のページを御参照ください

- ・農林水産省ホームページ（農作業安全対策）

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzen/](https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/)

---

### 3 「浜松まるごといただきます！キャンペーン」について

---

浜松の食に関する取組みを行ってInstagramに写真を投稿すると、抽選で約300名に、おいしいうれしいプレゼントが当たるキャンペーンが実施中です。

【主催：浜松市健康増進課、農業水産課、ごみ減量推進課、ウエルネス推進事業本部】

【協力：浜松商工会議所食品部会】

●募集期間

- ・キャンペーンA「浜松野菜×ベジファースト」：2023年8月1日（火）～8月31日（木）・・・終了
- ・キャンペーンB「野菜摂取×使いきり・食べきり」：2023年8月31日（木）～9月30日（土）
- ・キャンペーンC「浜松食材・名産品×使いきり・食べきり」：2023年10月1日（日）～10月31日（火）

●参加資格

浜松市民でInstagramの公開アカウントをお持ちの方

※18歳未満の方が参加する場合は、保護者の同意の上でご参加ください。

●参加手順等の詳細は以下のページを御参照ください

浜松市ホームページ「はまつフードパーク」内の当キャンペーン案内ページ

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/foodpark/hamamatsumarugoto.html>

---

#### 4 Webマガジン「aff」8月号の「旅する農業遺産」について

---

「aff（あふ）」は、消費者の皆さん、農林水産業界関係者、そして農林水産省を結ぶWebマガジンです。

施策の現場のレポートやインタビューのほか、暮らしに役立つ情報も満載し、農林水産業界における先駆的な取組や、農山漁村の魅力、食卓や消費の現状などをビジュアルで分かりやすくお伝えします。

農林水産省が編集・発行し、株式会社角川アスキー総合研究所が編集協力しています。

8月号では偶数月連載の「旅する農業遺産」にて、世界農業遺産の一つである山梨県の峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システムが紹介されています。

●チェックポイント

- ・ 峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム
- ・ 勝沼ぶどうの丘や大善寺など観光スポットがいっぱい！
- ・ 名菓「桔梗信玄餅」が詰め放題！

●詳細は以下のページを御参照ください

農林水産省ホームページ内「aff」8月号の「旅する農業遺産」ページ

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2308/heritage02.html#Point02>

■--西部農林活動レポート--■□■□■

---

#### 西部農林活動レポート（8月）

---

県西部農林事務所ではさまざまな業務・活動を行っています。  
その一部を御紹介します。

- ・ 令和5年度新規就農者経営発展セミナー第2回講座を開催しました
- ・ 【美農里】浜松市で「ふじのくに美農里プロジェクト」情報連絡会を開催しました
- ・ 西部稲作経営研究会研修会でICT水田水管理システム（開水路タイプ）を紹介しました

●詳細

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/seibunorin/1034299.html>

●お問合せ

県西部農林事務所 企画経営課

TEL：053-458-7208

≡≡≡

※今後、配信を希望しない場合は、下記E-mailアドレスへお知らせください。  
※メールアドレスの変更等の場合も、下記へお知らせください。  
※配信を希望する方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。  
※当メールマガジンは、等幅フォントでご覧ください。

◆このメールマガジンへのお問い合わせは、  
西部農林事務所（企画経営課）まで。  
電 話　： 0 5 3 - 4 5 8 - 7 2 0 8  
F A X　： 0 5 3 - 4 5 8 - 7 1 6 8  
E-mail： seinou\_kikaku@pref.shizuoka.lg.jp  
URL：<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-770/index.html>

≡≡